

2020年度

S F

小論文

3月12日(木)
【後期日程】

地域創造学環

9:30~10:50

注意事項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(2枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、4ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙(2枚)を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあけない。
- ・改行したら一マスあける。
- ・句読点は、それぞれ一マス使う。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」はそれぞれ一マス使う。
- ・行の末尾の句読点は、最後のマス目の文字と一緒に書き入れる。

- 6 問題は、声を出して読むてはいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

高齢者の外出と自動車の運転に関する投書 A と投書 B を読み、後の図1と図2をみて、問一と問二に答えなさい。

投書 A

投書 B

(注) 傘寿…八〇歳

ヒヤリ・ハット…危険な目にあいそうになって、ひやりとしたり、はっとしたりすること。重大な事故になりかねない危険な出来事。

コミュニティバス…交通手段が十分に整っておらず移動に不便な地域において、住民らの移動手段を確保するため、地方自治体などが運行する

バス。

【出典 二〇一九年六月一九日付神奈川新聞より 出題の都合上、投書に付された見出しと投書者の居住地、職業の記述を削除した。】

問一 投書 **A** と投書 **B** を読み、双方の主張の違いを三〇〇字以内で述べなさい。(配点三〇%)

問二 問一の解答、および次頁の図1と図2も踏まえて、高齢者の外出と自動車の運転についてあなたが課題だと考えること、そして今後の地域づくりを見すえたあなたの考えを六〇〇字以内で述べなさい。(配点七〇%)

図1 外出の際に自分で運転する頻度(択一回答)(都市規模別、性別、年齢別)
(外出の際に自分で自動車を運転する人=100%)

(注) 回答条件は、外出する際に利用する手段で「自分で運転する自動車」と回答した者。
出題の都合上、一部表記を改めた。

(出典) 内閣府「令和元年版高齢社会白書」、65ページ、図1—3—10より。

図2 今後の車を運転することについての考え(択一回答)(都市規模別、性別、年齢別)(外出の際に自分で自動車を運転する人=100%)

(注) 回答条件は、外出する際に利用する手段で「自分で運転する自動車」と回答した者。
出題の都合上、一部表記を改めた。

(出典) 内閣府「令和元年版高齢社会白書」、66ページ、図1-3-11より。